

いんぷおみやぎ



令和7年度「家庭の日」絵画・ポスター 優秀作品
「家庭の日の思い出」 東松島市立鳴瀬未来中学校1年 小山 実咲 さん

CONTENTS

- 2 令和7年度の主な事業
- 3 青少年健全育成応援事業決定団体からの報告
- 4 「家庭の日」作品募集審査結果
- 6 少年の主張宮城県大会結果報告
- 8 青少年健全育成みやぎ県民のつどい
- 10 青少年育成推進指導員の委嘱・地域研修会
- 11 研修大会の開催
- 12 青少年の健全育成啓発とインターネットの安全安心利用のために

発行・問合せ先

青少年のための宮城県民会議 (とらいゆ〜す MIYAGI)

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1
宮城県環境生活部共同参画社会推進課内
TEL: 022-211-2577 FAX: 022-211-2392
E-mail: seisyo9@pref.miyagi.lg.jp

青少年のための宮城県民会議



会員募集中!

明日の未来を担う青少年の健全な育成を願い、私たちの活動にご協力いただける会員を募集しています。申し込みは随時受け付けておりますので、事務局までご連絡ください。

〇年会費 (1口)

正会員	青少年育成機関・団体	5,000円	賛助会員	個人	3,000円
	企業	10,000円		団体	5,000円
				企業	10,000円

令和7年度

青少年のための宮城県民会議の主な事業

令和7年度の総会を、5月28日(水)に、宮城県庁講堂で開催しました。

当日は70名の参加(事前の書面表決提出数75)で、令和6年度の事業報告・決算、令和7年度の事業計画・予算案が、原案のとおり可決・承認されました。

また今年度は役員改選時期であり、下記の方々が役員に就任されました。



【主な事業】

R7. 4.21	会計監査	
	第1回運営委員会	
5.28	令和7年度総会	(参加者数70名、宮城県庁講堂)
6.10~24	青少年育成推進指導員委嘱状交付式・地域研修会	(県内4地区会場)
7.7~9.5	「家庭の日」作品募集	
7月~9月	少年の主張地区大会	(県内12地区)
8.5	第1回研修委員会	
9.26	少年の主張宮城県大会	(参加者数203名、多賀城市文化センター)
10.9	「家庭の日」作品審査会	
10.14	第2回研修委員会	
11.13	青少年健全育成みやぎ県民のつどい	(参加者数125名、気仙沼市はまなすの館)
12.4	第2回運営委員会	
12.12	第1回常任委員会	
12.18~	「家庭の日」入選作品展示	
R8. 1.8	(県庁1階ロビー)	
1.22	第3回研修委員会	
2.6	研修大会	(参加者数112名、角田市市民センター)
2.26	第3回運営委員会	
3.16	第2回常任委員会	

【令和7年度役員(任期2年)】

役職	氏名	機関・団体名
会長	佐々木 伸明	大河原町明日の青少年を育てる会理事
副会長	齋藤 辰治	石巻市青少年健全育成市民会議会長
//	畑山 和晴	宮城県PTA連合会副会長
常任委員	佐藤真紀子	(一社)宮城県子ども会育成連合会長
//	小池 健治	宮城県青少年補導センター連絡協議会長
//	坂井 均	(社福)宮城県社会福祉協議会副会長兼専務理事
//	佐藤 仁	宮城県中学校長会副会長
//	佐藤 和博	宮城県青年会議所会長
//	高橋 正樹	(公社)日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会長
//	後藤 道子	宮城県青少年育成アドバイザー連絡協議会長
//	青山 達二	(公社)宮城県防犯協会連合会専務理事
//	荻原 勝	仙台地区青少年育成市町村民会議協議会長(塩竈市)
//	勝井 徳	青少年のための大崎市民古川会議会長
//	高橋 秀一	青少年のための栗原市民会議会長
//	羽生 進	青少年のための登米市民会議会長
//	生駒 正博	気仙沼市青少年育成協議会長
//	本田 史郎	宮城県教育庁義務教育課課長
//	三浦 恵美	宮城県教育庁生涯学習課課長
監事	笹木まち子	(公財)宮城県母子福祉連合会副会長
//	浅野よし江	宮城県更生保護女性連盟会長
//	柴谷 亜美	ガールスカウト宮城県連盟長
顧問	三浦 文夫	前青少年のための宮城県民会議会長

令和8年3月31日現在

全国青少年育成県民会議連合会 『青少年指導者等顕彰』受賞

県民会議常任委員 荻原 勝 様 (青少年育成塩釜市民会議会長)

全国22道県が加盟する全国青少年育成県民会議連合会より、多年に亘る青少年健全育成指導者としての地域活動への功績が認められ、顕彰表彰が授与されました。



青少年健全育成応援事業決定団体からの活動報告

正会員または正会員に加盟する団体・グループが主催する青少年健全育成のための活動に、経費の一部補助をするもので、今年度は下記の事業に対して補助を行いました。

「あったか家庭の日」啓発事業

青少年のための大崎市民岩出山会議

毎月第3日曜日は、「あったか家族の日」と称して、家族の温かいふれあいを通じてぬくもりのある家庭づくりの推進に取り組んでいます。

令和7年度地域内小中学生を対象に「あったか家族の日」作文・ポスターの作品募集を行い、家族や家庭の役割について、家庭・学校・地域社会が一体となって連携し、より密接なつながりを深めることができました。



登米市青少年健全育成推進のつどい

青少年のための登米市民会議

令和7年11月19日(水)に中田農村環境改善センターを会場として「令和7年度登米市青少年健全育成推進のつどい」を開催しました。

少年の主張登米地区大会優秀賞受賞者の発表や地区活動事例発表のほか、東北福祉大学教育学部教授の水野康氏をお招きし、「青少年の睡眠問題（および母親の睡眠不足）」についてと題してご講演いただきました。



東松島市青少年健全育成市民会議20周年事業

東松島市青少年健全育成市民会議

東松島市青少年健全育成市民会議は、令和7年度に設立20周年を迎えた記念とし、市内の全小中学校11校へ計275冊の図書を寄贈しました。子どもたちが読書を通じて健やかな成長と豊かな心を育む一助となることを願っています。



子ども安全対策事業

青少年健全育成松島町民会議

子どもたちの安全を守るため、「子ども110番の家」のプレートを新たに100枚購入しました。

これからも、子どもたちが犯罪や事故の被害に合わないよう、見守り活動や声がけ活動など、地域ぐるみで取り組んでまいります。



みんなで行こう♡世代交流バスツアー2

こども食堂バンビーニ

石巻から貸し切りバスで角田市への遠足を実施。角田市交通公園、道の駅かくた、スペースタワー・コスモハウス・角田市郷土資料館を巡りました。普段外出の機会が少ない子どもから大人まで一緒に体験し、会話や学びを通して、交流を深める笑顔あふれる一日となりました。



青少年健全育成連携事業

仙台地区青少年育成市町村民会議協議会

塩竈市と合同で、11月12日(水)に塩竈市魚市場大会議室にて研修会を開催しました。当日は70名の参加があり、公益財団法人モラロジー道徳教育財団特任教授の大久保俊輝氏より、「しおがまで幸せに！」と題して講演をいただきました。ワークショップ形式の講話は、参加者から好評でした。



令和7年度白石市青少年自立支援活動

青少年のための白石市民会議

11月30日(日)に「青少年健全育成市民のつどい」を開催し、「家庭の日」絵画・ポスターコンクール表彰や、親子による「家庭の日」の実践発表、中学生とオーストラリアとの国際交流の活動報告、市内中学生による「私の主張」を行いました。つどいには、青少年健全育成にかかわる団体の方々200名が参加しました。



中学校と地域の協働によるボランティア活動推進事業

美里町青少年健全育成町民会議

美里町では、今年度開校した美里中学校への支援体制の一環として、「中学校と地域の協働によるボランティア活動推進事業」を行っています。その中で特に、中学生がボランティア活動によって地域とつながり、それぞれの個性を生かしながら活躍することで、自己有用感や自己存在感を体験できるような環境づくりを目指しています。



「家庭の日」作品募集 審査結果

令和7年7月7日(月)から9月5日(金)まで、「家庭の日」作品の募集を行い、絵画・ポスター部門114点(児童の部80点、生徒の部34点)、川柳部門466句(児童生徒の部393句、一般の部73句)の応募がありました。その中から、入選作品として絵画・ポスター部門20点、川柳部門17句を選出しました。

入選作品は、「家庭の日」への理解を深めるために、令和7年12月18日(木)から令和8年1月8日(木)の期間、県庁ロビーで展示したほか、各会議の場での紹介、カレンダーや啓発物品等への掲載などに、広く活用しています。



優秀作品

(敬称略)



絆を深める家庭の日
宮城教育大学附属小学校 5年 太郎丸 莉杏



かていのひ
大崎市立古川第三小学校 1年 三浦 莉央奈



表紙の
作品

家庭の日の思い出
東松島市立鳴瀬未来中学校 1年 小山 実咲



家庭の日
石巻市立蛇田中学校 3年 佐々木 萌衣



「家庭の日」
絵画・ポスター優秀作品 表彰式

優秀賞に選ばれた4人には、11月13日に行われた「県民のつどい」にて、賞状と記念品が授与されました。

毎月第3日曜日は 家族と過ごす大切な時間を 持ちませんか? 「家庭の日」

入選作品

(敬称略)

【絵画・ポスター部門】

◆児童の部



ひまわり畑きれいだな
多賀城市立天真小学校1年 野沢 実夢



かぞくのえ
大崎市立古川第三小学校2年 鈴木 葵



家そくでお花見
仙台市立国見小学校3年 吉野 航輝



初めての川遊び
塩竈市立第二小学校3年 山野部 史乃



みんな笑顔家庭の日
多賀城市立天真小学校4年 吉井 咲瑛



家庭の日
大崎市立古川第三小学校6年 南生 静咲



笑顔たくさん!!
多賀城市立山王小学校6年 和泉 百々花



えがおなおもいで
大衡村立大衡小学校6年 増子 結羅

◆生徒の部



お昼寝
富谷市立東向陽台中学校1年 奥津 心晴



ぬくもり
富谷市立東向陽台中学校1年 奥津 心花



幸せの1枚
宮城県古川黎明中学校1年 鈴木 凜菜



家族愛
富谷市立東向陽台中学校2年 佐藤 なつめ



夏のひまわり
富谷市立東向陽台中学校2年 鈴木 京



幸せ 家庭の日
石巻市立蛇田中学校3年 佐々木 榎音



笑顔は宝物、家庭の日
登米市立登米中学校3年 大野 胡桃



毎日が記念日
登米市立登米中学校3年 高橋 結菜

【川柳部門】

◆児童・生徒の部

くらい夜かぞくで見たよ天の川
多賀城市立天真小学校 2年 赤坂 賢哉

もちせおい泣く弟に笑う母
多賀城市立天真小学校 4年 伏見 果歩

ママのうたおふるだけではプロみたい
仙台市立荒町小学校 5年 伏見 智晃

兄妹で取り合う父のかたまたき
柴田町立東船岡小学校 6年 森 妃花

「ありがとうね」ねぎらい合いの家庭の日
仙台市立南吉成中学校 1年 岩田 零

召し上がれ母と作ったずんだもち
宮城教育大学附属中学校 1年 谷口 孝太郎

笑い声こぼれる窓に秋の風
古川学園高等学校 1年 佐藤 匠真

こころまで母のコロッケほっかほか
宮城県立石巻支援学校高等部 1年 千葉 優衣

玄関灯見える優しさ待つ家族
古川学園高等学校 2年 杉浦 えり子

スマホ置き会話が戻る家庭の日
仙台工業高等学校 2年 田邊 陽

メディアOFFリアルな笑顔広がる輪
仙台工業高等学校 2年 鈴木 利空

孫手製御守り爺の枕元
富谷市 加賀 由恵

何思う先祖に祈るもみじの手
富谷市 大野 昭雄

家族の健康願い手料理母の愛
富谷市 秋葉 庸子

自主返納促す子らの親思い
富谷市 青柳 信義

AIも家族になった未来へ輪
仙台市泉区 佐藤 昭子

夕げ時未来語り希望満ち
仙台市青葉区 齋藤 正道



少年の主張宮城県大会を、9月26日(金)に多賀城市文化センターで開催しました。県内12地区大会の代表となった13名の中学生が、毎日の生活の中で感じ、考えたことなどを、自分の言葉でまとめ、堂々とした発表をしてくださいました。

会場の聴衆からは「ひとりひとりの視点がすばらしかった」「力強い主張に感動した」「子どもたちの意見を大人が聞く場はもっとあっていいと思った」等の声が寄せられました。

審査結果

宮城県知事賞

「私が歌う先にあるもの」

宮城教育大学附属中学校 3年 菅原 琥千

青少年のための宮城県民会議会長賞

夢を失っても

仙台市立寺岡中学校 3年 フェイガン 瑠輝奈

私たちにできること

丸森町立丸森中学校 3年 菊地 南



優良賞

(県大会出場者全員が受賞・発表順)

「知ろうとしなかった」あの時のわたしへ

石巻市立渡波中学校 3年 大壁 コウ

「関わって、届ける」

気仙沼市立唐桑中学校 3年 男帛 凧

指一本で落とす命

大崎市立田尻中学校 3年 佐々木 煌璃

声を出す勇氣

登米市立津山中学校 3年 金野 史菜

そっと手を差し伸べる勇氣を

塩竈市立第三中学校 3年 藤代 美月

Until we are all equal

宮城県仙台二華中学校 3年 早坂 翠

1200分の1の私

栗原市立栗原西中学校 3年 菅原 汐

キャンサーギフト母の病が教えてくれたこと

仙台市立鶴谷中学校 3年 佐藤 克樹

みんながってみんないい?

富谷市立富谷第二中学校 3年 遠山 聖夏

見えないもの

仙台市立愛宕中学校 3年 岩本 侑奈

令和7年度宮城県知事賞受賞作品 (全国大会出場 努力賞受賞)

「私が歌う先にあるもの」

宮城教育大学附属中学校 3年 ^{すがわら}菅原 ^{こせん}琥千



「将来は国連に入って、困っている人々を助けたいんだよね。」

小学6年生のときのある日の帰り道、友人が私に話してくれた言葉です。調べてみると、「国連」というのは国際平和の維持や社会の発展のための組織で、難民支援や紛争地域での平和維持活動など、世界を幅広く支える活動をしていることが分かりました。

顔の知らない誰かのために自分の命をかけられるなんて、すごいと思いました。そしてそこで働きたいと思っている友人を心から尊敬しました。

私はというと、幼い頃から歌がとにかく大好きで、将来の夢は歌のおねえさんとミュージカル俳優。大勢の人前で歌うことを夢見ながら研鑽を積み、東京でミュージカルに出演させてもらうなど、徐々に活動の幅を広げていた最中でした。ですが、自分の夢と友人の夢を比べたとき、なんだか自分の夢が独りよがりな自己中心的なものではないかと感じてしまいました。友人は自分ではない誰かのために、私は私自身のためだけに、夢を追っているのではないかと。

それからの私は、「私の本当にやりたいことってなんだろう」と考え続けました。歌のコンクールでは、思うような結果が残せず悔しい思いをすることもありました。決して順風満帆な日々ではなかったのですが、それでも私にできること、私のやりたいことを見つめるために、中学生になってからもひたすら努力し続けました。

そんな中、テレビのニュースで、私の好きなミュージシャンが音楽を通して、国内外で支援活動をしているということを知りました。このとき、誰かのために活動することにも、様々な形があると気付きました。私も自分のやりかたで人を笑顔にできる活動をしてみたい。

そんな思いを抱き始めた中学2年生の冬、幼い頃に通っていた幼

稚園で、歌のソロコンサートをボランティアでさせていただけることになりました。相手は幼稚園児、場所は幼稚園のホールです。私には、もっと大きなステージや多くのお客さんの前で歌ってきた経験があります。だからこそ、しっかりやり切る自信がありました。ですが、そこで改めて、「歌の力」に気付くことになるのです。「あおいそらにえをかこう」私が歌い出すと、次第に子どもたちも手をたたき、口ずさみ、互いの緊張がほどけていきました。目の前に広がるのは満開のひまわりのような子どもたちの笑顔。私の歌に、笑顔で返してくれることが本当に嬉しく、心が震えるのを感じました。ああ、私の本当にやりたいことってこれだったのかもしれない。私の歌が、みんなの笑顔に繋がっている。舞台の大きさや、お客さんの数なんて関係ない。この笑顔のために、私は歌うんだ。「歌う意味」に気付けた瞬間でした。

皆さんには夢はありますか。その夢を追うことに対して、不安になったり、諦めなくなったりしたことはありませんか。私はたくさん悩みました。友人の夢と私の夢を比べ、私の夢は誰のためにもならないのではないかと不安に思いました。ですが、夢と向き合い続けた結果、「歌う意味」を見つけられました。困っている人に直接手を差し伸べる友人の夢。誰かの気持ちに寄り添い、そっと背中を支える私の夢。夢の形は違えど、どちらも誰かの笑顔に繋がっていると気付きました。私は、自分の歌が誰かを支えることに繋がるのなら、歌い続けたい。「この人の歌が安心できる居場所なんだ」と思ってもらえるように頑張りたい。いつか憧れのミュージシャンのように、歌で社会貢献ができるような人になりたい。私が歌う先にあるものを求めて、これからも歩み続けていきたいと思えます。

私に多くのことを考えるきっかけをくれた友人は、今どんなことを考えているのでしょうか。次に会うときには、自分の夢を胸を張って伝えたいと思えます。「私は多くの人に歌で笑顔を届けたい」と。

夢を失っても



みなさんは、夢を失ったことがありますか。私は、自分のすべてであった大きな夢を、たった一度の怪我で失いました。

私の夢は、フィギュアスケート選手になることでした。いつかオリンピックに出て、金メダルをもらうことを夢見ていました。この夢を叶えるために、思いつくすべての時間を費やしました。睡眠時間や食事の時間、友達や家族と過ごす時間。登校前に朝練、放課後すぐにリンクへ。移動時間に勉強を済ませ練習。車の中で夕飯を食べて夜練。毎日毎日練習を重ねて、大会では、賞状やメダルをたくさんいただきました。

ある日、私はいつものようにジャンプの練習をしていました。その日はいつもよりやる気に満ち溢れていて「絶対に跳べる。」そんな気がしていました。「先生が教えてくれた通り、いつも通りにやろう。」そう思いながら、次々にジャンプを成功させていきました。自信がついてきた私は徐々にスピードを上げ、ジャンプを飛ばうとした、その時です。私は転び、背中からリンクに叩きつけられました。理解がまったく追いつかず、立ち上がることもできません。私は尾てい骨を強打し、スケート選手になるという大きな夢の幕を閉じました。

スケート以外に何もしてこなかった私は、夢も希望もこれまでの努力も、何もかも失った絶望でいっぱいでした。

しかし、私を優しく支えてくれる家族や仲間がいました。ダウン症であり福祉施設で働いているおじは、暗くなっている私を元気づけるために、施設のお祭りに連れて行ってくれました。そのお祭りは、運営もすべて障がいのある方が行っていました。自分にできることを見つけ、たくさんの人を楽しませようとしている姿を見て、わたしも頑張ろうと立ち上がる勇気をもらいました。

母は「新しい何かを見つけるために」と、習字や絵画に挑戦させてくれました。何度も何度も挑戦するうちに、「自分の想いをその

仙台市立寺岡中学校 3年 フェイガン 瑠輝奈

まま形にできる」ということに感心し、芸術の素晴らしさを知りました。絵画では、ネガティブなことばかり考えてしまうとどんどんパレットが汚れていき、作品全体がにごってしまいます。習字も同じで、自分の感情がそのまま作品に表れます。今では、墨の香りに浸り集中力を高め、一発勝負で書くことが大好きです。絵画と習字の先生はよくこう言います。「なにが成し遂げたいことがあるなら、まずは気持ちから。」前向きに挑戦し続ける気持ちをもつことがどれだけ大切か。絵画や習字に出会わなければ、私はこのことに気が付かなかったかもしれません。

そんなある日、人数不足で大会に参加できない妹が「一緒にバレーボールをしよう」と何度も誘ってきました。私は球技が大の苦手でしたが、挑戦してみることにしました。当時小学6年生だった私は、チームで唯一の最高学年。みんなより経験も少ない中、必死に練習に励みました。私にもできることはないか。そうだ、笑顔で声を出して、チームを盛り上げればいい。今までは自分との戦いだったけれど、バレーはチームプレー、仲間を頼っていいんだ。自分ができることを精一杯やればいい。そう思えるようになりました。卒業大会ではキャプテンを務め、チーム全体で一生懸命戦いました。結果は負けてしまいましたが、みんなが私の卒団を惜しみ、泣いてくれました。私も優秀選手賞をいただき、最高の思い出ができました。

私は、自分のすべてを失った絶望でいっぱいでした。しかし、支えてくれた家族や仲間のおかげで、興味がなかったことや苦手だったことから学び、今まで知ることのなかった新しい自分に出会い、幸せを実感できました。失った夢が大きければ大きいほど、悲しみも大きい。しかし、今まで見ようとしてこなかったものにも目を向けられるのです。夢を失ったとしても、きっとそれはいい経験です。私はこれからも、壮大な夢を見つけて、それを叶えるために、もっと色々なことに挑戦します。「なにが成し遂げたいことがあるなら、まずは気持ちから。」今までとは違う自分に出会うことを目指して。

私たちにできること



みなさんは、自分の住む地域の課題は何か、どんな政策がとられているか知っていますか。

私は考えたこともありませんでした。あの日までは。

消滅可能性自治体。その衝撃的な言葉が私の目に飛び込んできたのです。なんと、私の住む丸森町は、2050年までに、人口が激減し、最終的には消滅してしまうというニュースでした。

このことについて調べてみると、2020年からの30年間で、子どもを産む中心となる人口の減少率が50パーセントを超えると予想される自治体のことだそうです。その中でも、丸森は減少率が75パーセントと、県内一だと出てきました。

「え？なんで丸森が？子育て日本一と掲げているはずなのに。」疑問やショックで胸がいっぱいになりました。

どうしても不安になった私は、祖父と話してみることにしました。私の祖父は丸森町の町長です。このことに一番詳しいであろう祖父はどう考えているのか、聞きたかったのです。

「じいちゃん。丸森って、消滅可能性自治体って言われてるんでしょ。対策として何かしてることあるの？」

すると祖父は、少し苦い顔をしながらこう言ったのです。「丸森は、少子高齢化も深刻だから、若い人が残れるような政策をとってるよ。」

そう答える祖父は、いつもの優しくして面白い祖父とは違い、真面目で真剣な眼差しをしていました。

その「政策」とは、子育て世帯の負担軽減のため、保育料や給食費、子どもの医療費を無償にするものです。出産入学祝金もあります。祖父は、便利で人とのつながりを大切にしたい地域にしたいと熱く語っていました。

「なんでこういう政策があるのに、丸森は若い女性の減少率が県内一になってしまっているんだろう。」と疑問が湧いてきました。

そこで、母にも話を聞いてみることにしました。

丸森町立丸森中学校 3年 菊地 南

「そりゃあ消滅してほしくないよ。でも、若い人が就くような仕事はないし、大きい都市と比べたら、安心して子どもを産み育てられないよね。産婦人科だってないし。」

確かに、若い人の仕事や、安心できる施設が丸森にはありません。これは町の課題なのではないか。

そう考えていた矢先、私の考えがさらに深まる出来事がありました。それは、「模擬議会」です。模擬議会とは、町の議場で実際の議員さんに、私たち中学生が一般質問をするというものです。その一般質問のためにクラスで町について改めて考え、話し合いました。私のクラスでは、

「災害時のためにも体育館にエアコンを入れてはどうか。」

「大きな商業施設を誘致したらより住みやすくなるのではないか。」

という意見を議員さんにぶつけてみることにしました。

そして迎えた本番。普段とは異なる厳かな雰囲気になりました。何より驚いたのは、私たち中学生の意見に大人たちが、それも町政の中心となる人たちが真剣に答えてくれたこと。発せられる言葉、声に迫力がありました。私たちの出した案に対しても他地区の実態や予算をふまえて回答してくれました。会の終わりには、なんと前向きに検討したいと言ってもらえたのです。手応えを感じました。

こうしてクラスメイトと話したり、大人の考えを聞いたりしたことで町をよりよくする方法は実はたくさんあるということがわかりました。

立場や性別が違えば、見えているものや思いも違う。それでも私の住む町には、よりよい未来について真剣に話し合える仲間や、それを真摯に聞いてくれる大人たちがいる。このことは、町の未来への希望だと思います。子どもも大人もまずは知ることが第一歩です。そして、自分なりに考えること。自分一人が考えたって……といった何もしなければ現状は変わりません。私たちが望むようになったらいいなという夢や希望は、遠くの誰かが知らないうちに叶えてくれるのではなく、今の自分と地続きでつながっているのです。だから、恐れず声をあげてみて欲しいです。そうして一人ひとりが向き合えたとき、きっとよりいっそう素敵な地域になると思うのです。

※発表の動画と作文は、青少年のための宮城県民会議のホームページに掲載しています。右の二次元コードを読み取ってご覧ください。



「みやぎ教育月間」協賛

青少年健全育成 みやぎ県民のつどい

期日：令和7年11月13日(木) 会場：気仙沼市はまなすの館



毎年11月の「みやぎ教育月間」に合わせ、青少年健全育成運動の趣旨を広く県民の皆さんにアピールし、育成運動への理解を深め、協力をいただけるよう開催しています。

今年度も県内各地から青少年健全育成活動に携わる125名の方々が一堂に会しました。はじめに、青少年健全育成に尽力された方々への県民会議会長表彰、並びに「家庭の日」絵画・ポスター優秀作品の表彰や、少年の主張宮城県大会出場者3名の主張発表がありました。

その後の基調講演では、地元気仙沼市出身で日本フェンシング会のレジェンド千田健一氏に「スポーツが教えてくれる『生きる力』とは」と題して、ご講演いただきました。

会長表彰

●青少年健全育成功労者（個人）—順不同/市町は活動地域—

市町村	氏名
松島町	佐藤 キヨ子様
松島町	山崎 友美様
多賀城市	鈴木 泰壽様
名取市	高橋 雅子様
登米市	佐々木 耕史様
登米市	小野寺 久様
登米市	菊地 君江様
登米市	千葉 幸弘様
登米市	平 孝様



●在学青少年社会参加活動善行者（団体）

石巻市立山下中学校健全育成ボランティア「シリウス」様

■設立/平成26年 ■代表者名/佐々木 裕 校長

生徒自らが規範意識を高め、学校生活を築き上げていこうと立ち上げました。県内で一番輝く学校を目指そうと、夜空の星の中で一番明るく輝くおおいぬ座の「シリウス」を団体名にし、以下のような活動を行っています。

- 中学校や学区内小学校での挨拶運動
- みやぎ小・中学生いじめ防止動画コンクールに向けた動画作成
- 災害復興のための募金活動
- 警察署と連携した防犯キャンペーンのピラ配り（街頭活動）
- 地域行事への参加（運営補助等） ●校内緑化活動 等



少年の主張宮城県大会出場者による主張発表



▶青少年のための宮城県民会議会長賞受賞

- ・「夢を失っても」
仙台市立寺岡中学校 3年 フェイガン瑠輝奈さん
- ・「私たちにできること」
丸森町立丸森中学校 3年 菊地 南さん

▶宮城県大会優良賞（気仙沼・本吉地区最優秀賞）

- ・「関わって、届ける」
気仙沼市立唐桑中学校 3年 男帛 凧さん

基調講演

演題：「スポーツが教えてくれる『生きる力』とは」

講師：公益社団法人日本フェンシング協会会長

公益財団法人宮城県スポーツ協会会長 千田 健一 氏



〈プロフィール〉

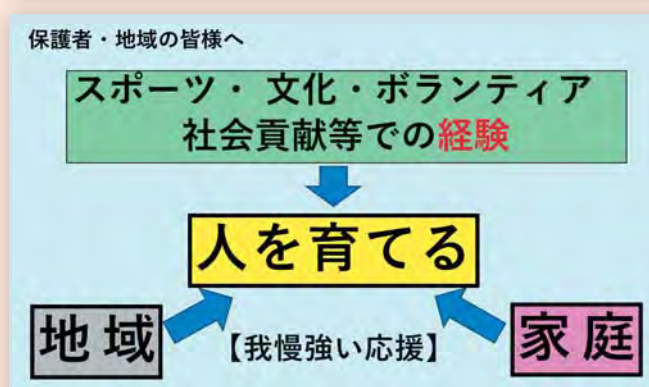
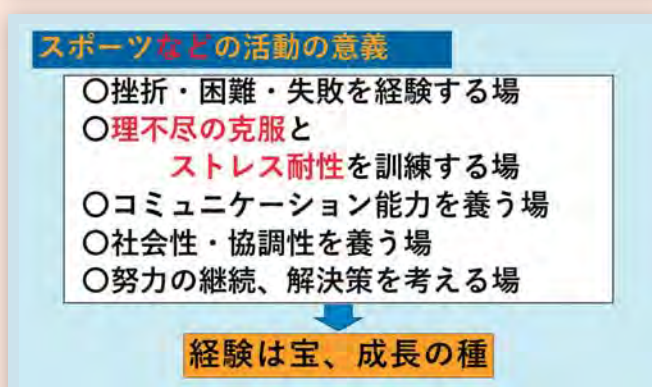
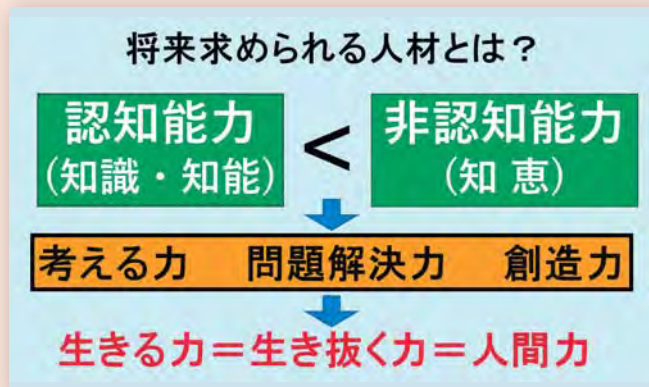
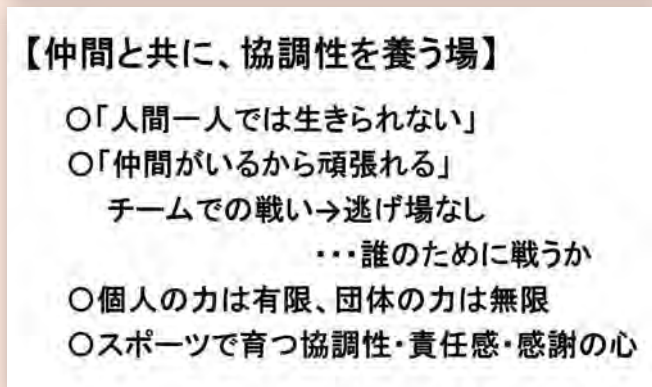
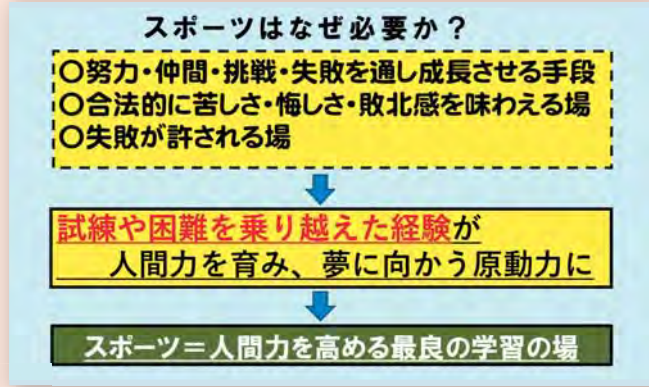
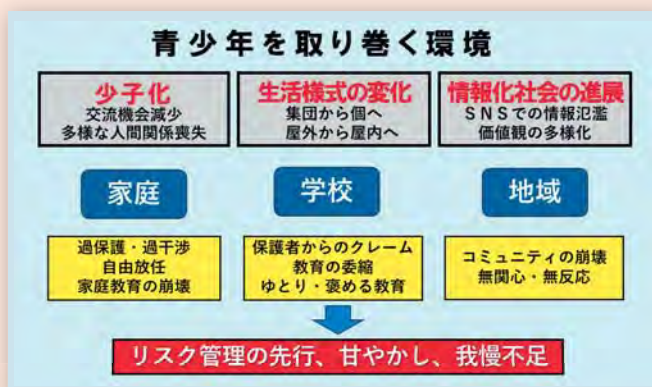
気仙沼市在住。昭和31年宮城県気仙沼市生まれ、気仙沼高等学校・中央大学法学部卒業。高校教諭初任地として栃木県立宇都宮商業高校勤務。その後、宮城県に移り、県が浦高校・気仙沼高校等に勤務。気仙沼向洋高校校長としてご退職された。平成31年からは気仙沼市総合体育館館長を務めた。

小学校5年生から市フェンシング協会で競技をはじめ、全国高校総体や関東学生大会等で個人・団体優勝を重ね、世界選手権大会メルボルン大会・モスクワオリンピック日本代表となった。

その後各勤務校で指導し、全国大会で個人優勝2度・団体優勝7度の輝かしい成績を残した。国際大会では世界ジュニア選手権大会等で7年間コーチ・監督としてご活躍された。表彰受賞では、平成19年・文部科学大臣優秀教員表彰、令和7年・日本フェンシング協会表彰、生涯スポーツ功労者表彰を受賞された。現在は、日本フェンシング協会会長、宮城県スポーツ協会会長等、多くの要職を務められている。

講演では、千田氏のフェンシングでの貴重な体験談を交え、以下の柱立てでお話しいただき、健全育成に携わる私たちにとって、多くの気づきと学びを得られる時間となりました。

- 現在の青少年を取り巻く環境とは
- 今学校現場で叫ばれる「生きる力」とは何か
- スポーツの目的とは何か。ただ勝ち負けだけが全てではない。
- スポーツを通じて得た様々な経験から学んだことが将来の生きる力となり人生の糧となる
- スポーツを通じた青少年育成への地域社会の役割と期待とは何か。



令和7・8年度の青少年育成推進指導員を委嘱しました



令和7・8年度の青少年育成推進指導員を委嘱する「委嘱状交付式」を県内4地区で開催し、新任39名を含む169名の方を委嘱しました。同時に開催した「地域研修会」では、青少年育成推進指導員の役割や活動について事務局からの説明を行い、参加者全員で令和6年度の「活動報告」をもとに、それぞれの地区の実情に応じた取組が共有されました。

～青少年育成推進指導員とは？～

地域で子どもたちを温かく見守り、健やかな成長を応援するボランティアです。活動はあいさつや見守り、学校との情報交換、地域行事への協力など、各種団体と共に日常の中で無理なくできるものを中心とします。地域の実情に合わせ、それぞれの立場で子どもたちを支える役割を担っていただいています。

地域研修会より

仙南・仙台南地区

6月10日(火) 大河原合同庁舎〈30名参加〉

学校・地域・家庭が連携した日常的な活動が多く報告されました。あいさつ運動、放課後の遊び場づくり、地域行事の支援など、地域の大人が子どもを見守る仕組みが継続しています。

また、個人情報の扱いによる連携の難しさや、学校統廃合に伴う地域との距離の変化など、新たな課題への対応も話題となりました。



〈名取市増田地区：あいさつ運動〉

石巻・登米・気仙沼地区

6月17日(火) 登米合同庁舎〈24名参加〉

この地区では、組織の在り方や活動の継続性についての意見が多く出されました。

参加者減少や働き方の変化により、従来の活動が続けにくくなっている現状が共有され、複数団体との連携、安全パトロールの共同実施、コミュニティスクールの活用など、「無理なく続けるための仕組みづくり」が進んでいます。

防災訓練や伝統文化の継承など、地域資源を活かした取組も報告されました。



〈登米市石越地区：クリーン作戦〉

仙台市・仙台北地区

6月20日(金) 宮城県庁〈35名参加〉

安全確保・防災・多世代交流を軸にした地域連携が進んでいます。

学校・PTA・町内会などが協力し、子どもの危険兆候への対応や通学路の安全点検を行い、行政の修繕につながった例もありました。地域ボランティアと協力した「たてわり駅伝」といも煮交流や、合同防災訓練を通じ子どもの安全意識を高める取組、卓球バレーによる多世代交流、ジュニア防災リーダーの育成等、地域全体で子どもを支える体制づくりが進展しています。



〈泉区松陵地区：卓球バレーの様子〉

北部地区

6月24日(火) 大崎合同庁舎〈38名参加〉

この地区では、自然体験や合同イベントなど、地域の力を持ち寄る協働の取組が目立ちました。

栗拾いや清掃活動、4地区合同フェスティバル、ジュニアリーダー主体の企画など、子どもが地域と関わる機会が多くつくられています。

少子化が進む中でも、「地域で支え合う」姿勢を大切にした活動が広がっています。



〈栗原市：ジュニアリーダーの活動より〉

地域の声を未来につなぐために



情報交換の中で

- ・担い手がない
 - ・活動が大きな負担になっていないか
 - ・推進指導員の選出が実情に合っていないのではないか
 - ・活動内容の見直しが必要ではないか
- など、率直な課題提起がありました。

これらは県内全域に共通するテーマでもあります。今後は、地域ごとの柔軟な組織づくり、複数団体との連携、参加しやすい活動の再設計が求められています。

研修大会

大会テーマ：「地域が一体となって取り組む青少年健全育成」

期日：令和8年2月6日(金) 会場：角田市市民センター

令和7年度の研修大会を、角田市市民センターで開催しました。

事前の研修委員会で、各地域で青少年健全育成活動を行ううえで、青少年の居場所の一つである地域の力を高め、地域の力を見直し生かせるような研修内容を検討し、講演と分科会を行うことで決定しました。

講演 「公民館を核とした、住民が主役の地域づくり」

講師：白石市斎川公民館斎川まちづくり協議会

事務長 佐藤 幸枝 氏

白石市市民経済部まちづくり推進課まちづくり支援係

主幹 佐々木さつき 氏



〈プロフィール〉

佐藤 幸枝 氏：地元白石市斎川生まれ。平成17年4月より臨時職員として斎川公民館で働き始め、平成29年4月より事務長となり現在に至る。平成28年に地域の小・中学校が相次いで閉校してしまうという知らせを受け、地域づくりの取組に力を入れる。

佐々木さつき氏：福島県福島市出身。平成26年4月に教育委員会生涯学習課に配属となり、地区公民館（まちづくり協議会）を核にした地域づくりに携わる。組織再編により、令和3年4月からは市民経済部まちづくり推進課で同様の業務に携わっている。



講演では、初めに佐々木さつき氏より、白石市の概要、公民館の状況、地域づくりに関する市の施策について説明が行われました。

次に、佐藤幸枝氏からは、少子化により小中学校が閉校となった斎川地区の状況を踏まえ、全住民（中学生以上）へのまちづくりに関するアンケート調査を行い、回収率85.5%の結果か

ら見えてきた課題の一つ一つを丁寧に拾い集め、検証しながら、住民が地域の中で、安心して住み続けられる様々な取組を行ってきた様子をお話いただきました。

公民館を核とした住民主体の地域づくりや、子ども・若者の参画を促す多様な実践が紹介され、参加者からは「地域の課題解決に大いに参考になった」との声が寄せられました。また、人口減少や少子高齢化といった共通課題に対し、アンケートの活用や世代を超えた関わりづくりなど、具体的な工夫が示され、地域活動の見直しや新たな取組への意欲につながったとの意見も多く見られました。

分科会

講演終了後に、4つのグループに分かれ講演内容をもとに意見交換を行いました。

地域課題の共有

- 多くの地域で少子化・高齢化が進み、参加者確保が難しい。

子ども・若者の参画

- 乳幼児期から地域と関わる機会づくりが将来の参加につながる。
- 小・中学生を巻き込むことで活動が活性化するとの声が多い。

家庭・保護者との連携

- 行事は「親子で参加」できる形が効果的。

コミュニケーションの工夫

- 大人・子ども双方のコミュニケーションの難しさを実感。
- 地域のつながりを深める工夫が必要。

団体間の協働

- PTA・町内会・老人クラブなどとの共同開催は負担軽減に有効。

地域の実情共有

- 他地域の取組を知ることが大きな学びに。
- 課題は共通しており、互いの事例を参考にしたいとの声。

子どもの主体性

- 「場」を用意すれば子どもは自ら動けるという意見が印象的。

次世代への継承

- 活動継続には若い世代へのバトンタッチが不可欠。

【令和7年度研修委員】

〈研修委員長〉 齋藤 仁 (仙南地区)
〈研修委員〉 目黒 剛史 (仙南地区) 中鉢 義徳 (仙台地区)
花釜 幾雄 (大崎地区) 小野寺幸揮 (栗原地区)
櫻井 美之 (仙台市)



青少年の健全育成啓発とインターネットの安全安心利用のために

スマートフォンやSNSの普及により、青少年を取り巻くネット環境は急速に変化しています。宮城県では、子どもたちが安全にインターネットを利用できるよう、啓発活動を行うとともに、地域・学校・家庭が連携して子どもたちの健全な成長を支える取組を行っています。

出前講座の実施

◆青少年の健全育成講話等

青少年の健全育成に長年携わってきた青少年専門員からその経験と知識に基づき、青少年健全育成において大切にすべきことを説明します。

◆青少年のインターネット安全利用講話

学校やPTA等の青少年健全育成関係団体からの御要望に応じて職員を派遣し、青少年が巻き込まれやすいインターネットトラブルの事例紹介や、そのようなトラブルに巻き込まれないためのルールづくりやフィルタリングの必要性などについて説明します。

今年度は「青少年の健全育成講話等」を2団体で、「インターネットの安全利用講話」を25団体で実施しました。



啓発DVDの貸出し

インターネット利用や青少年の健全育成に関する啓発DVDを無料で貸し出しています。授業・研修会・地域行事など、さまざまな場面で活用できます。

DVDは、宮城県内の団体に貸し出しているもので、個人への貸出しは行っていません。

<DVDの例>

「スマホ・SNSトラブル防止」、「ネット依存を考える」、「地域で支える青少年の育ち」、「メディアとの上手な付き合い方」等

啓発動画・リーフレット

◆「インターネット安全安心利用啓発動画」の公開

青少年がスマートフォンを安全に使えるよう、ネットトラブルを防ぐための「フィルタリング設定の重要性」や「家庭でのルールづくりの大切さ」をわかりやすく解説した動画を作成し、公開しています。

◆リーフレット「ネットにひそむ危険からみなさんを守るために」

小学校低学年向け・高学年向けのリーフレットを作成し、学校や地域を通じて配布しているほか、ホームページで公開しています。学校の授業や保護者の方の勉強会、地域行事などでご活用ください。



低学年向け



高学年向け

詳細は
県共同参画社会推進課
青少年育成班の
ホームページを
ご覧ください

